

【歯科医療に関する一般生活者意識調査】

この1年以内の歯科検診・健診率は52%

全国的に上昇の兆し

—全国の20～70代の男女10,000人への調査—

- 受診経験者の4人に3人は治療に満足
- 「技術力」「治療費軽減」「痛みの軽減」に加え、「治療期間の適切さ」や「治療内容のわかりやすい説明」も期待
- 歯の状態が体へ及ぼす影響への関心度は高いが、詳しくは知らない

公益社団法人 日本歯科医師会

2014年6月26日

公益社団法人 日本歯科医師会（所在地：東京都千代田区九段北、会長：大久保満男）は、全国の20～70代男女を対象に、2014年3月4日（火）から3月6日（木）まで「歯科医療に関する一般生活者意識調査」を実施しました。

本調査は、当会の広報活動の趣旨である「歯科医療に対する国民の認知度・理解度向上」および「歯科医師や診療に対する評価・イメージの向上」に向け、現状の歯科医療を取り巻く環境や生活者の意識を把握し、今後の広報展開に役立てることを目的として、2005年から隔年に実施しているもので、今回で5回目になります。

同調査結果によって、以下のような実態が浮き彫りになりました。

**1年以内に歯科検診・健診を受けている人は52.1%。前回（46.6%）に比べ、上昇。**

この1年間に「企業や自治体（行政等）の歯科検診・健診（チェック）」や「歯科医院でのチェック」を受けた人は全体の52.1%。前回調査（2011年：46.6%）時に比べ検診・健診率は上昇しています。全国どのエリアでも検診・健診率は上昇しており、全国的に検診・健診を受けることが広がってきている兆しがみられます。歯科検診・健診または歯科医院でのチェックを“受けている”人は、男性より女性の方が多く、また、高年齢になるほど高くなる傾向がみられます。その一方で、男性20～50代、女性20代・50代では、この1年間の検診・健診率は5割を下回っています。

## **受診の動機は、痛みやはれ、出血、過去の治療箇所の不具合**

歯科受診のきっかけとして多かったのが、「痛み・はれ・出血があったから」(36.7%)、「過去の治療箇所の不具合が生じたから」(27.4%)というものでした。生活者の多くが「具体的な痛みや症状を実感したら受診をする」という傾向は前回調査時から変わってはいませんが、今回は「定期的に通う時期だったから」が2割を超え、口内の病気予防や健康チェックのために受診する人が増える兆しが見られます。

## **8割以上が、歯や口内に異常を感じながらも治療をしていない**

回答者10,000人のうち、半数以上が「歯や口腔に異常を感じている」(55.0%)と回答しています。しかしながら、異常を感じている人でも現在治療を受けている人は2割にも満たない(18.4%)状況にあります。

## **受診を自己判断で決めている人も**

歯科治療を中断、または受けていない理由では、「悪いところがないから」(42.3%)、「治療が終了した、病気が治ったから」(33.8%)、「痛みを感じるなど、ひどい状況ではないから」(18.9%)などの回答が上位を占めています。自己判断によって治療を受けていないケースも多いようです。

## **かかりつけ歯科医がいる割合は6割以上**

約66%の人に「かかりつけの歯科医がいる」ことが分かりました(65.8%)。男女とも、年齢が上がるとともにその割合は増える傾向にあり、70代においては約85%になっています(男性:84.6% 女性:85.3%)。かかりつけ歯科医を選ぶポイントとしては、通院に便利な場所(自宅の近所、通勤・通学の途中)という「立地」を重視している人が多く(59.1%)、次いで「技術力」(22.6%)、「歯科医師が信頼できる」(17.3%)が挙げられています。

## **4人に3人は治療に満足。決め手は「丁寧」「スタッフの対応」「時間通りの診療」**

歯科治療経験のある9,647人のうち、4人に3人にあたる約75%が治療に満足していると回答しています(74.5%)。「治療の丁寧さ」(44.1%)、「スタッフの対応の良さ」(39.5%)、「時間通りの診療」(39.5%)、「治療方法の分かりやすい説明」(30.2%)などが満足度の決め手となっています。技術力はもちろん、きめ細やかなサービスも患者の満足度を左右する上で重要なポイントとなっているようです。

## **「技術力」「治療費」「痛みの軽減」に加え、「治療期間の適切さ」や「治療内容のわかりやすい説明」も期待**

生活者が歯科医師・歯科医院に期待していることは、「治療技術」(59.7%)、「治療費負担が低いこと」(54.9%)、「痛くないこと」(47.3%)が上位に挙げられています。さらに、「治療期間・回数の低減」(38.5%)、「治療内容のわかりやすい説明」(36.9%)なども期待しています。

## **歯科医療に対する生活者の関心度は非常に高いが、詳しく知っている人は少ない**

歯科医療について、生活者はさまざまな関心を寄せています。「歯並びやかみ合わせの悪さが歯の病気の原因となる」(87.7%)、「歯科疾患と全身の病気との密接な関係」(85.4%)などの事柄に対する関心度は85%を超えています。

また、認知度も、「歯並びやかみ合わせの悪さが歯の病気の原因となる」は87.9%、「歯科疾患と全身の病気との密接な関係」は76.7%と高くなっていますが、いずれも、「聞いたことがある程度」で、「詳しく知っている」の割合は1~2割にとどまっており、詳しく理解している人が少ないことが明らかになりました。

また、歯科疾患と全身の健康との関わりについても、「歯周病」と「低体重児出産や早産」「気管支炎」「血糖値を下げる妨げ」「脳卒中」へ影響を及ぼすことについては6~7割が「全く知らない」としており、歯科疾患と全身の健康の具体的な事柄に関して知られていないことが明らかになりました。歯科疾患と全身の健康との関わりについては、今後ますます認知や理解を広げていくことが課題と考えられます。

## **歯科医師会からは日常の基本的な口腔ケアに関する情報が求められる**

歯科医師会から欲しい情報は、「歯や口の中の主な疾病とその予防方法」(46.2%)、「歯の正しい磨き方」(40.3%)など、基本的な日常の口腔ケアに対する情報が求められています。

また、20・30代は「正しい歯の磨き方」、女性20・30代は「子ども向け歯の手入れ方法や予防方法、食育」、60代以上の高齢者は「高齢者向け歯の手入れ方法や予防方法、介護予防、歯と健康長寿の関係」、「義歯やブリッジなど治療した歯の日ごろの手入れ方法」を求める人が多くなっており、年齢層によって求められる情報は異なっていることが明らかになりました。

以上の調査結果により、日常の検診・健診や定期的なチェックへの意識はあがってきているものの、実際の治療率は低く、また歯科疾患とそれが及ぼす全身への影響についてきちんと理解している人は少ないという実態が明らかになりました。

同調査結果の概要は、以下の通りです。

## 《調査実施概要》

### ■調査対象およびサンプル数

- ・全国の20～70代男女、10,000サンプル（有効回収スペース）

※なお、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士等歯科医療従事者は事前に除外。

- ・日本歯科医師会のブロック分けに従い、全国7ブロックごとの年代別人口比でサンプルを収集。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
北海道・東北	145	188	192	205	230	177	1,137
関東	338	442	464	382	457	322	2,405
東京	180	224	220	158	174	134	1,090
東海・信越	203	273	281	247	295	220	1,519
近畿	263	331	346	291	368	274	1,873
中国・四国	110	150	147	147	182	136	872
九州	150	191	187	201	214	161	1,104
合計	1,389	1,799	1,837	1,631	1,920	1,424	10,000

### ■調査手法

- ・インターネット調査

※インターネット調査会社の保有する調査パネルを抽出名簿とするインターネット調査（モニター会員にアンケートを依頼、アンケートフォームにエントリーした人を対象）。

### ■調査期間

- ・2014年3月4日（火）～2014年3月6日（木）

## 《主な質問項目と回答結果》

### 【一般生活者の歯科医師・歯科医院へのかかわりについて】

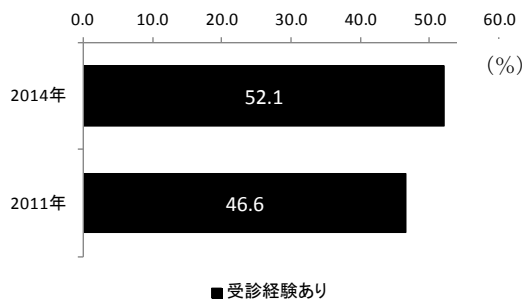
#### ■ 1年以内に歯科検診・健診を受けている人は52.1%。検診・健診率は前回(2011年)に比べ、上昇。

この1年間に「企業や自治体（行政等）の歯科検診・健診（チェック）」や「歯科医院でのチェック」を受けた人は全体の52.1%。前回調査（2011年）では46.6%でしたので、約6ポイント上昇しています。検診率は全国各地で上昇しています。

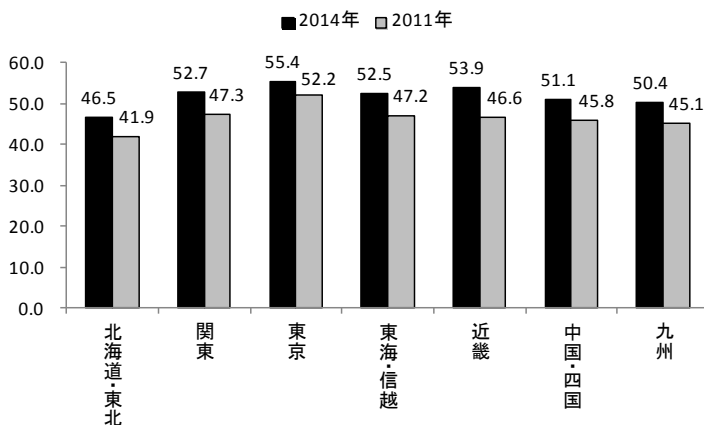
歯科検診・健診または歯科医院でのチェックを“受けている”人は、男性より女性の方が多く、また、高年齢になるほど高くなる傾向がみられます。その一方で、男性20～50代、女性20代・50代では、この1年間の検診・健診率は5割を下回っています。

#### 【1年以内の歯科検診・健診の受診有無】

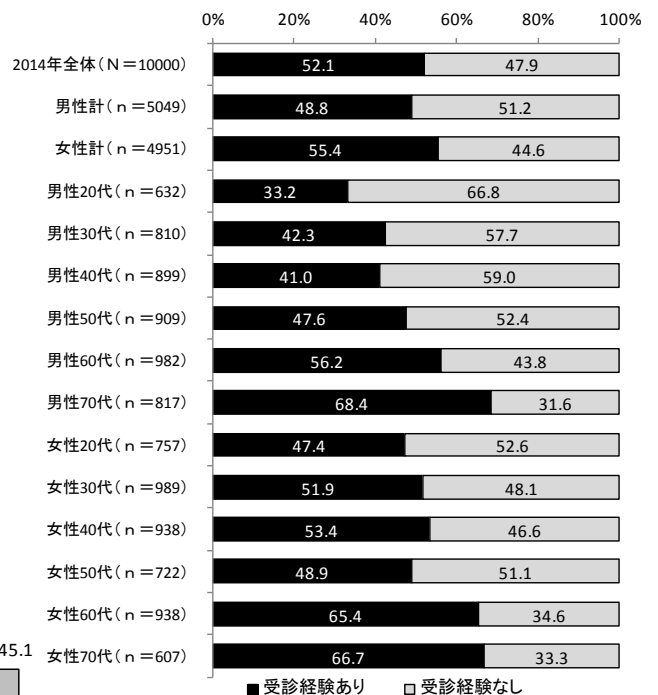
2014年 N=10,000（2011年 N=14000）



#### ＜居住地別 2011年との比較＞



#### ＜性別、性年代別＞

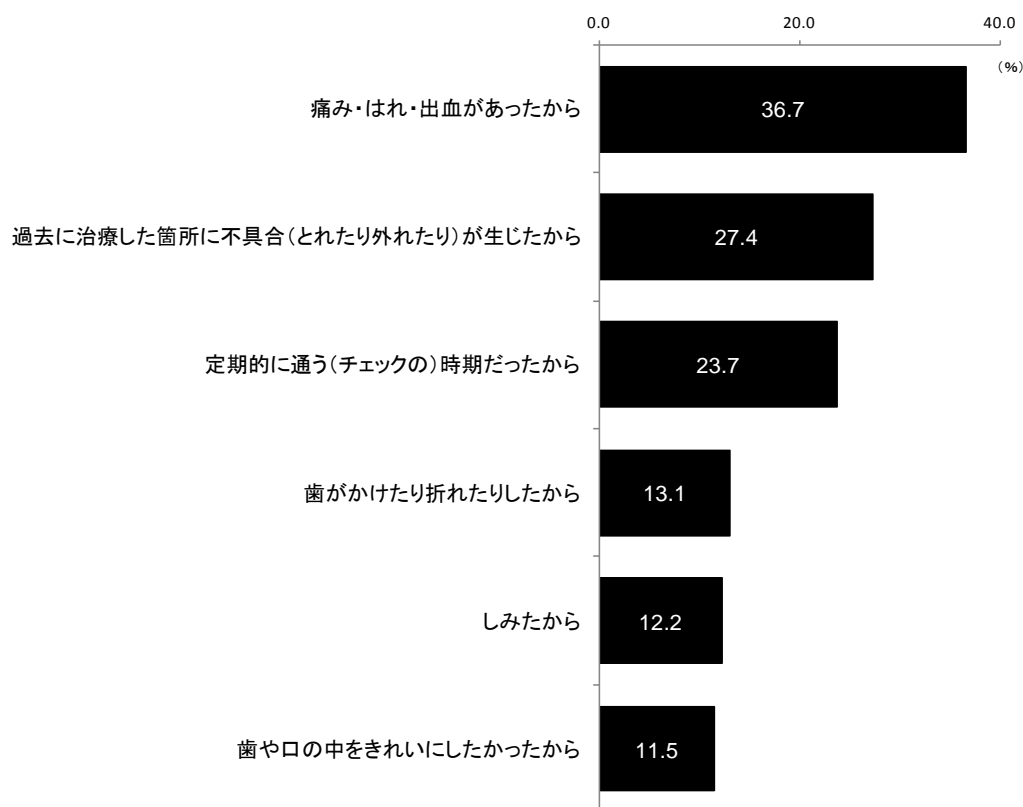


## ■歯科受診のきっかけは「痛み・はれ・出血」

これまでに歯科受診をしたことのある人の、受診のきっかけとなった理由で最も多かったのが「痛み・はれ・出血があったから」(36.7%)でした。次いで「過去に治療した箇所に不具合(とれたり外れたり)が生じたから」(27.4%)、「定期的に通う時期だったから」(23.7%)となっています。痛みや不具合を感じて歯科受診にでかける人が多いようですが、「定期的に通う時期だった」という人も約2割いるようです。

### 【歯科受診のきっかけ】

N=9,647 (歯科治療経験者)



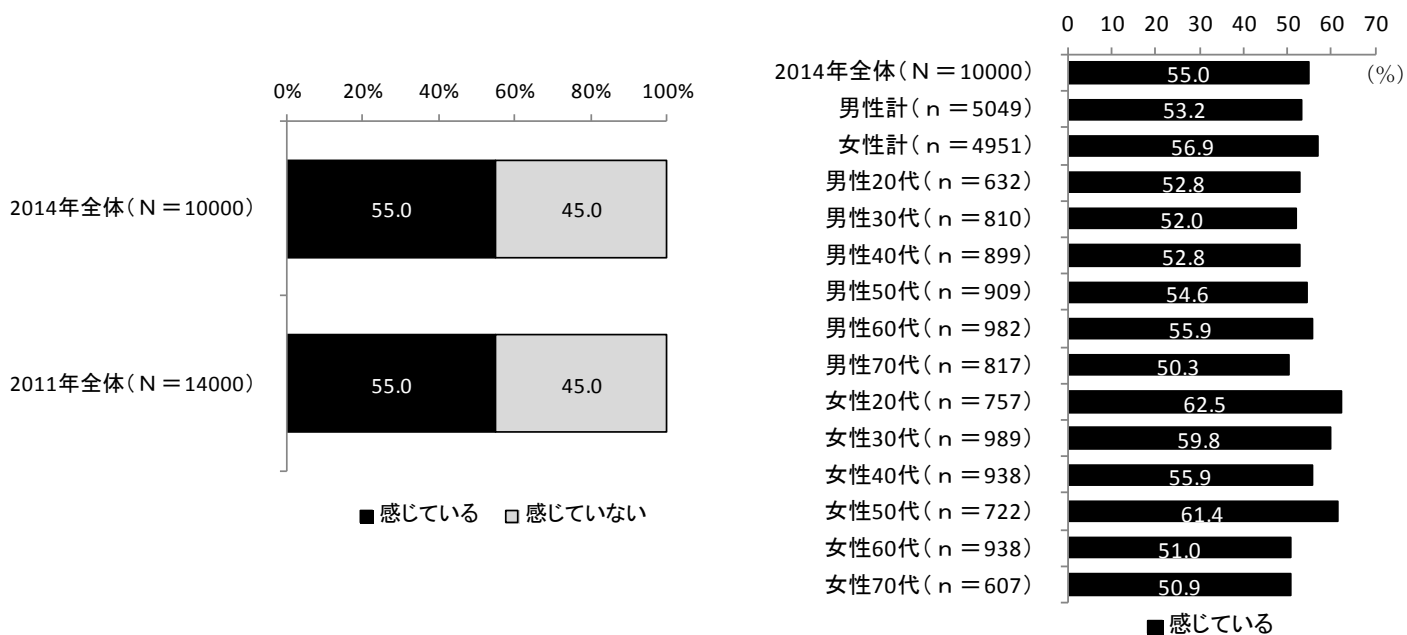
## ■「歯や口腔に異常を感じている」人は、全体の55%

「歯や口腔に異常を感じている」人は全体の55.0%。前回（2011年）と比べても、その割合は変わっていません。女性20代・50代では「異常を感じている」が6割を超え、他の性年代に比べ、「異常を感じている」人が多くなっています。

### 【歯や口腔に異常や問題を感じているか】

2014年 N=10,000（2011年 N=14,000）

<性別、性年代別>



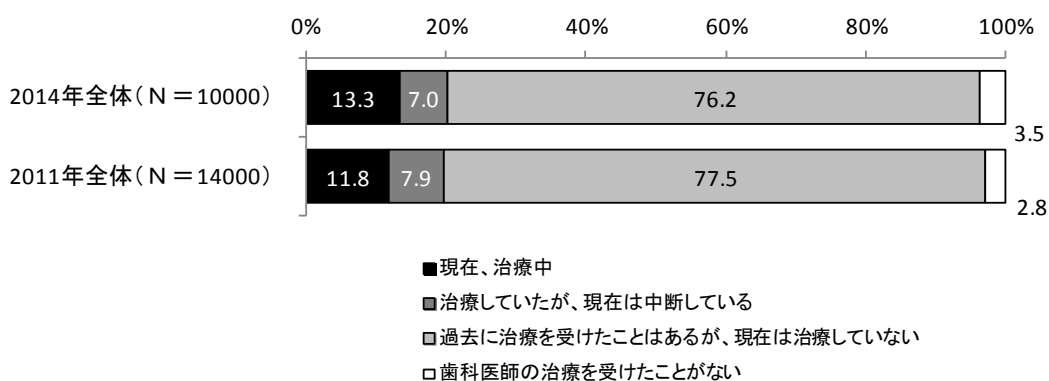
## ■「現在、治療中」は全体の 13.3%、「異常を感じている」人でも約 8 割が未治療

全回答者の中で、「現在、治療中」と回答している人は 13.3%でした。「治療していたが、現在は中断している」が 7.0%、「過去に治療を受けたことはあるが、現在は治療していない」が 76.2%で、ほとんどの人が治療経験ありという結果になっています（治療未経験者はわずか 3.5%）。男女別ではほとんど差がなく、年齢が上がるにつれ男女ともに「現在、治療中」の割合は高くなる傾向が見られます。年齢・男女別で最も高いのが 70 代男性で 21.7%、次いで 70 代女性の 24.4%でした。

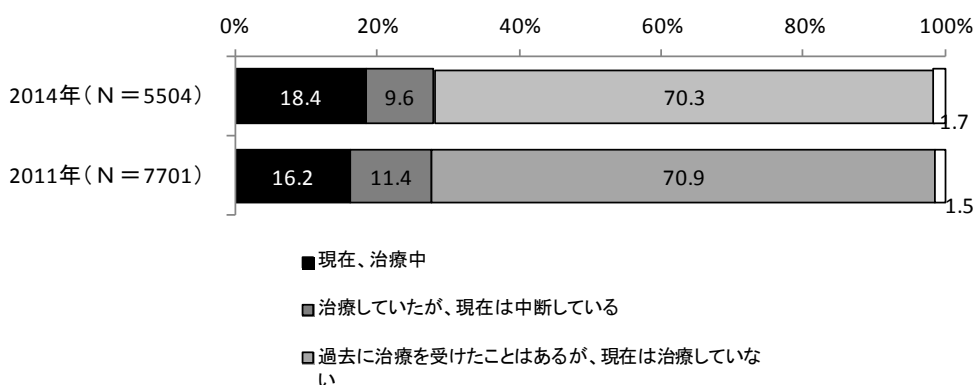
また、「歯や口腔に異常を感じている」と回答した 5,504 人の中で、現在治療を行っている人も 18.4%にとどまっています。「治療をしていたが、現在は中断している」人も含め、「未治療」の割合は約 8 割という結果になっています。

### 【現在の治療状況】

N=10,000（全体）



N=5,504（歯や口腔に異常を感じている人）



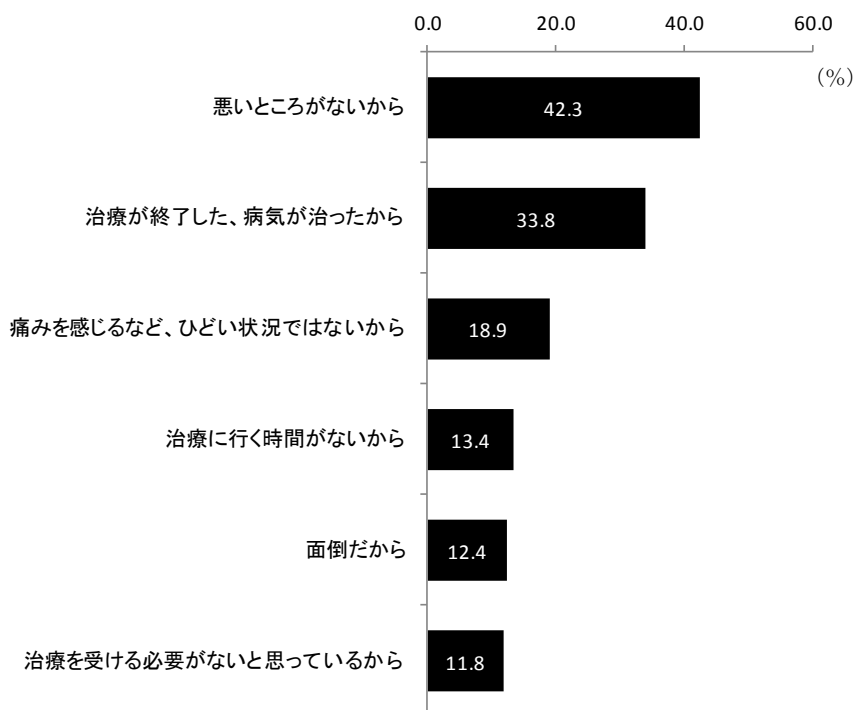


## ■治療の必要性を自己判断する傾向に

現在、歯科治療を受けていない理由としては、「悪いところがないから」が最も高く 42.3%。次いで「治療が終了した、病気が治ったから」(33.8%)、「痛みを感じるなど、ひどい状況ではないから」(18.9%)。以下、「治療に行く時間がないから」(13.4%)、「面倒だから」(12.4%)、「治療を受ける必要がないと思っているから」(11.8%)が続きます。「悪いところがない」など自己判断する傾向が見られます。

### 【歯科治療を中断・受けていない理由】

N=8,669 (現在、歯科治療を受けていない人)



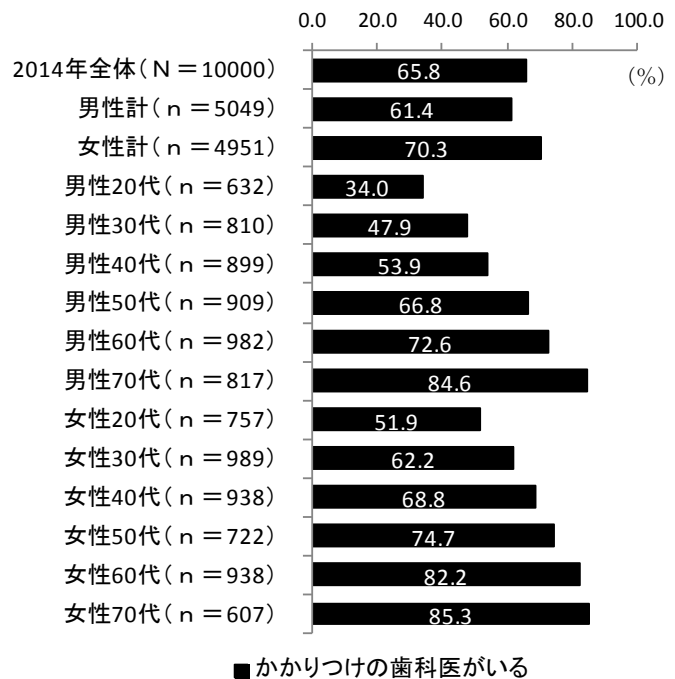
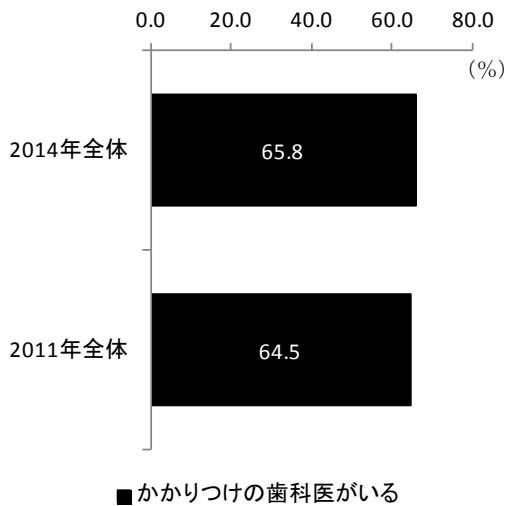
## ■全体の66%が、「かかりつけ歯科医がいる」

全回答者のうち、65.8%が「かかりつけ歯科医がいる」と回答しています。男女比では、男性より女性の方が多く、また男女ともに高年齢層になるほどその割合は増加し、70代では男女とも約85%が「かかりつけ歯科医」がいると回答しています。一方、男性20代では「かかりつけ歯科医がいる」のは34%にとどまっています。

### 【かかりつけ歯科医の有無】

(2014年 N=10,000 2011年 N=14,000)

<性別、性年代別>

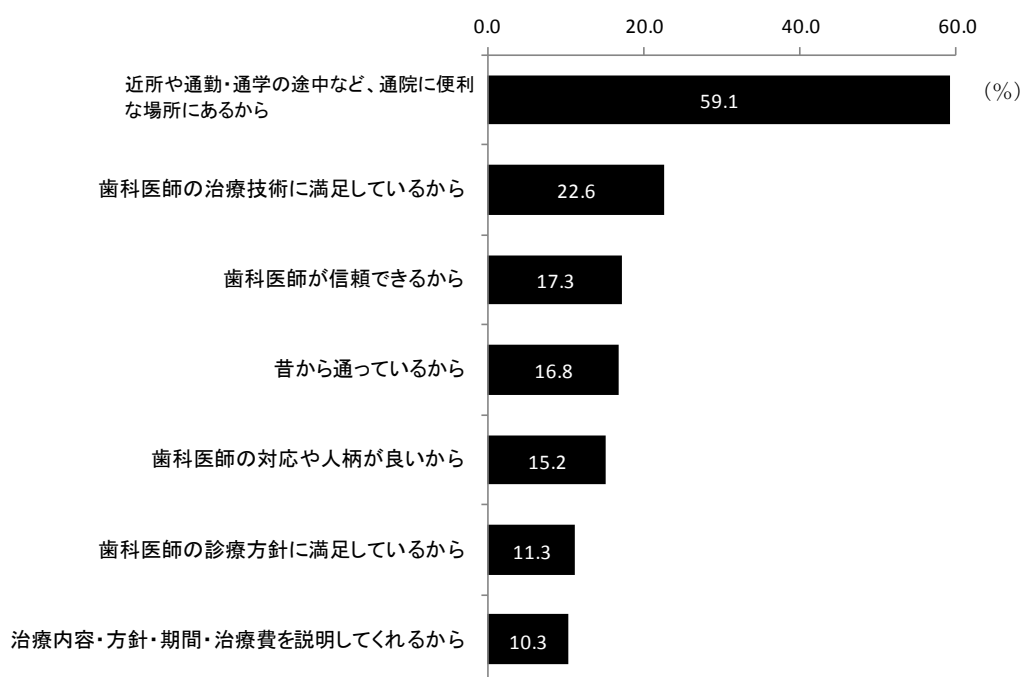


## ■ 「立地」「技術」「医師への信頼」が歯科医選びに大きく影響

かかりつけ歯科医がいると回答した 6,580 人に対し、その選択理由を聞いたところ、「近所や通勤・通学の途中など、通院に便利な場所にあるから」の割合が最も高く、約 6 割 (59.1%) を占めました。2 位以下の理由は「歯科医師の治療技術に満足」(22.6%)、「歯科医師が信頼できる」(17.3%)、などでした。

### 【かかりつけ歯科医を選んだ理由】

N=6,580 (かかりつけの歯科医がいる人)



## 【歯科医師・歯科医院に対するイメージ／評価】

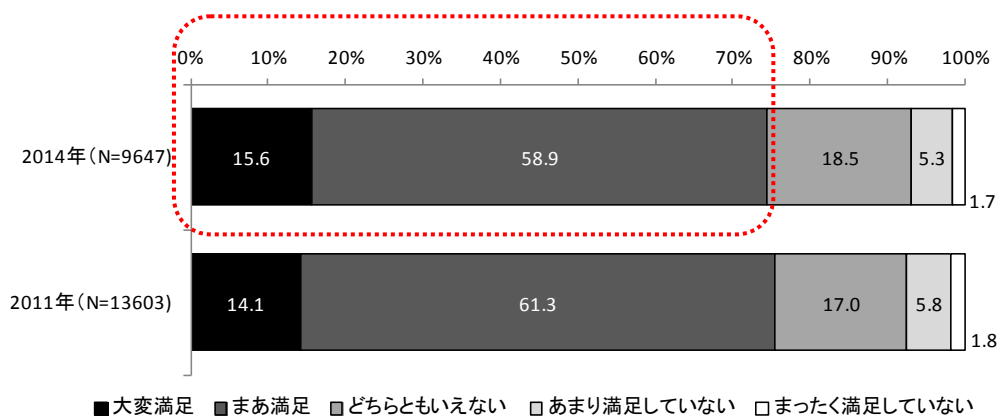
### ■最近かかった歯科医師・歯科医院に対し、4人に3人が「満足」と回答

歯科治療経験者 9,647 人のうち、74.5%（「大変満足＝15.6%」、「まあ満足＝58.9%」）が満足しています。満足していないという人は約 7%（「あまり満足していない」(5.3%)、「まったく満足していない」(1.7%)）にとどまっています。

### 【歯科医師・歯科医院に対する満足度】

N=9,647（歯科治療経験者）

満足している 74.5%

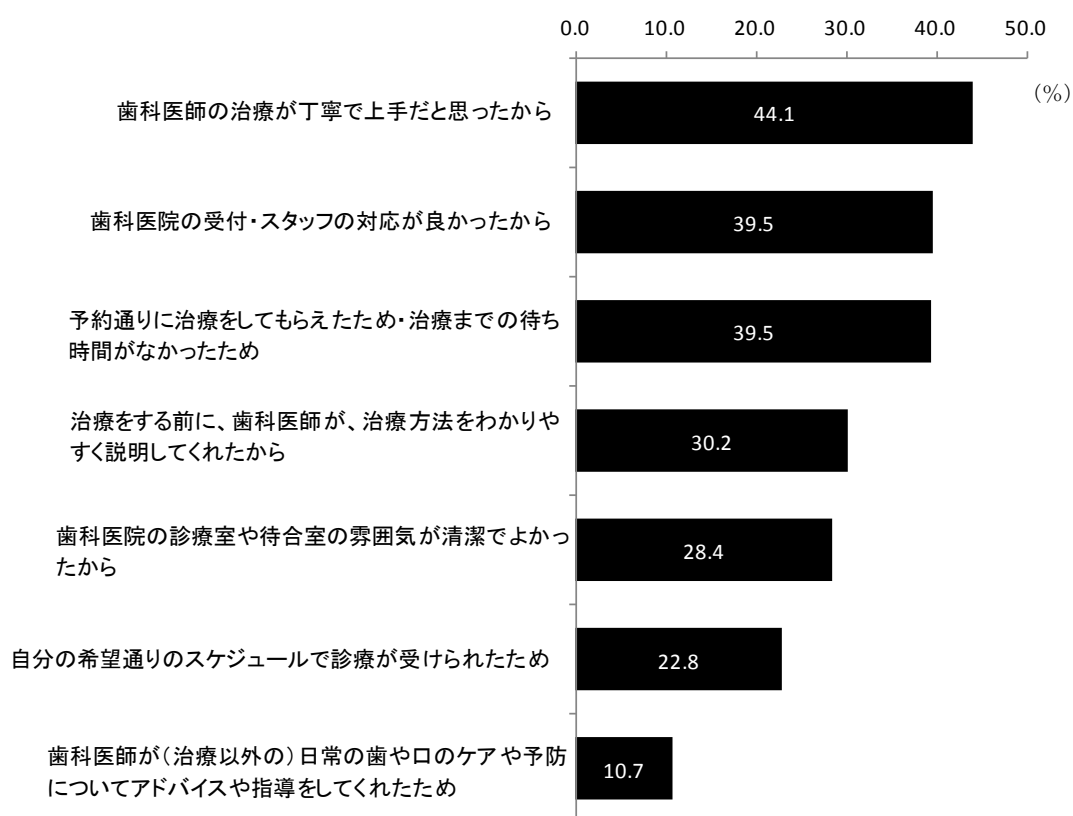


## ■歯科医師・歯科医院に対する満足度の決め手は「治療の丁寧さ」「スタッフの対応」「時間通りの診療」

歯科治療経験者のうち、医師・医院に対し「満足」と回答している 7,187 人に、満足している理由を聞いたところ、「治療が丁寧で上手だと思った」(44.1%)、「受付・スタッフの対応が良かった」、「予約通りに治療をしてもらえた、待ち時間がなかった」(それぞれ 39.5%) という回答が上位を占めました。

### 【歯科医師や歯科医院に対し満足している理由】

N=7,187 (歯科治療経験者で満足している人)



## 【歯科医師・歯科医院への期待・要望】

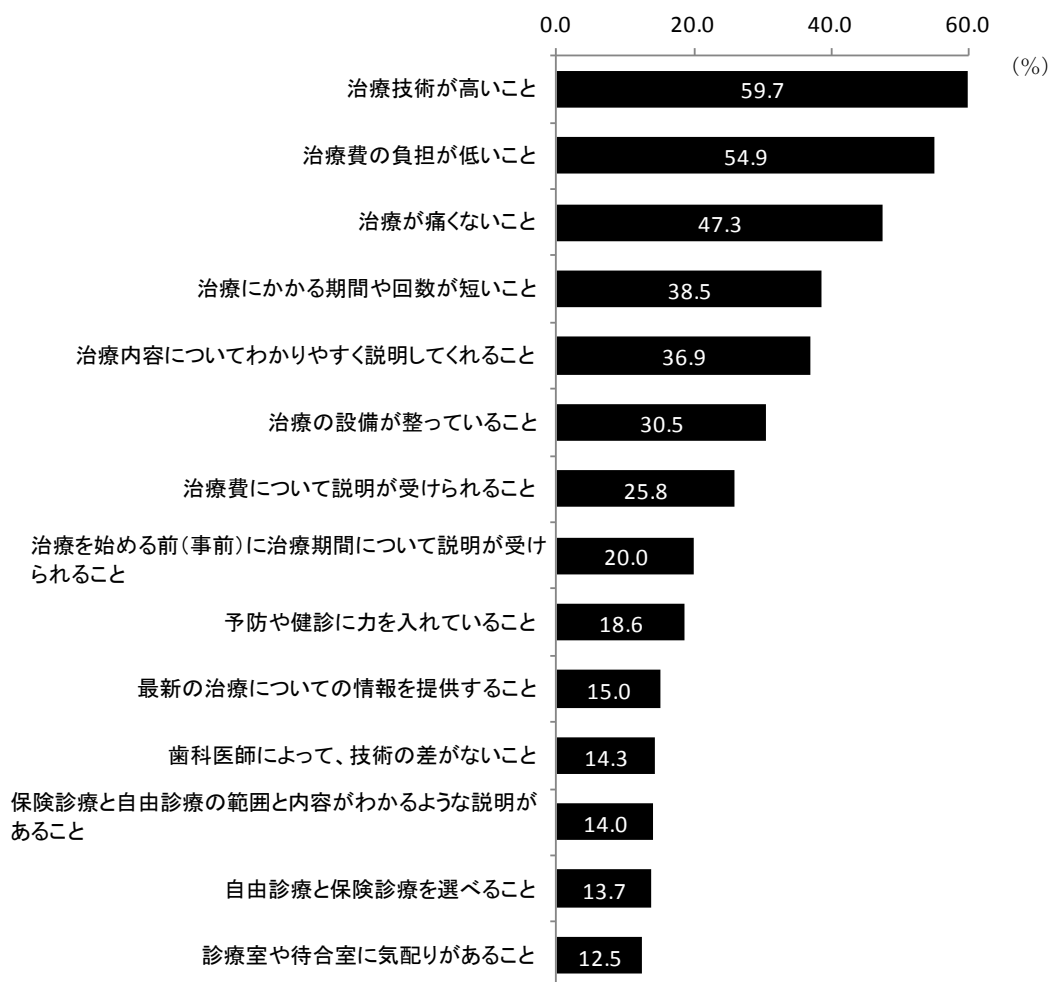
### ■「治療技術の高さ」「治療費負担の低さ」「痛みの軽減」に加え、「治療期間が長すぎないこと」や「治療内容のわかりやすい説明」も期待

歯科医師・歯科医院に期待することとして最もポイントが高かったのが、「治療技術が高いこと」(59.7%)でした。次いで「治療費の負担が低いこと」(54.9%)、「治療が痛くないこと」(47.3%)となっています。これらに加え、「治療にかかる期間や回数が短いこと」(38.5%)や「治療内容をわかりやすく説明してくれること」(36.9%)についても期待しています。

年代別にみると、若年層は「治療費の負担が低いこと」「痛くないこと」、高齢層は「高い技術力」「分かりやすい説明」を重視しています。

### 【歯科医師・歯科医院に対する期待、要望】

N=10,000 (全体)



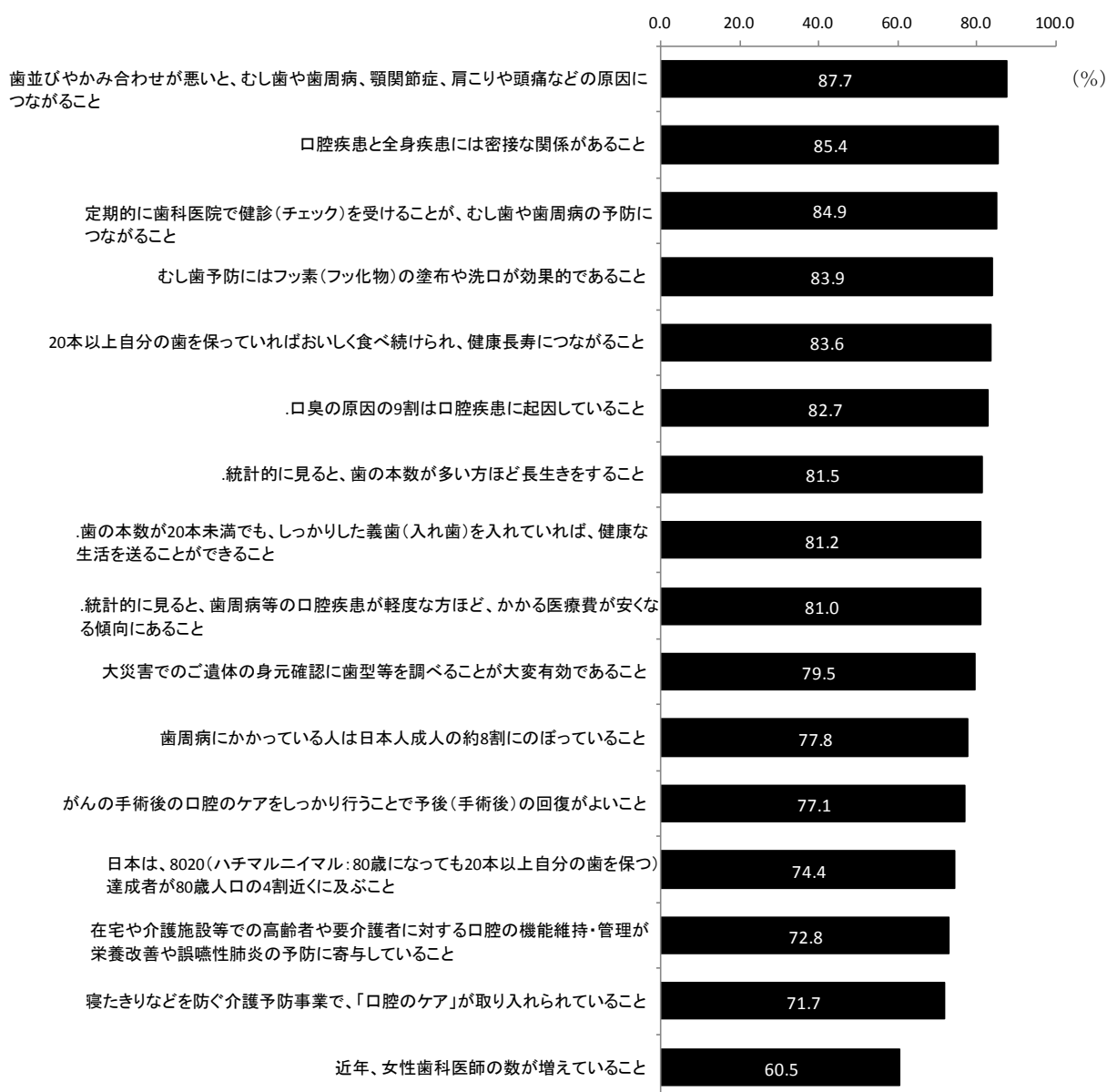
## 【歯科医療に関する関心】

### ■ 歯科医療に関する事柄、特に全身疾患との関係性への関心度は非常に高い

歯科医療に対する関心については、「歯並びやかみ合わせの悪さが、歯の病気の原因になる」(87.7%)、「歯科疾患と全身の病気の密接な関係」(85.4%)、「定期的な健診が、むし歯や歯周病の予防につながる」(84.9%)等、歯科疾患と全身疾患との関係や、予防に関する関心度が高い結果となっています。

### 【歯科医療に関する事柄への関心】

N=10,000 (全体)

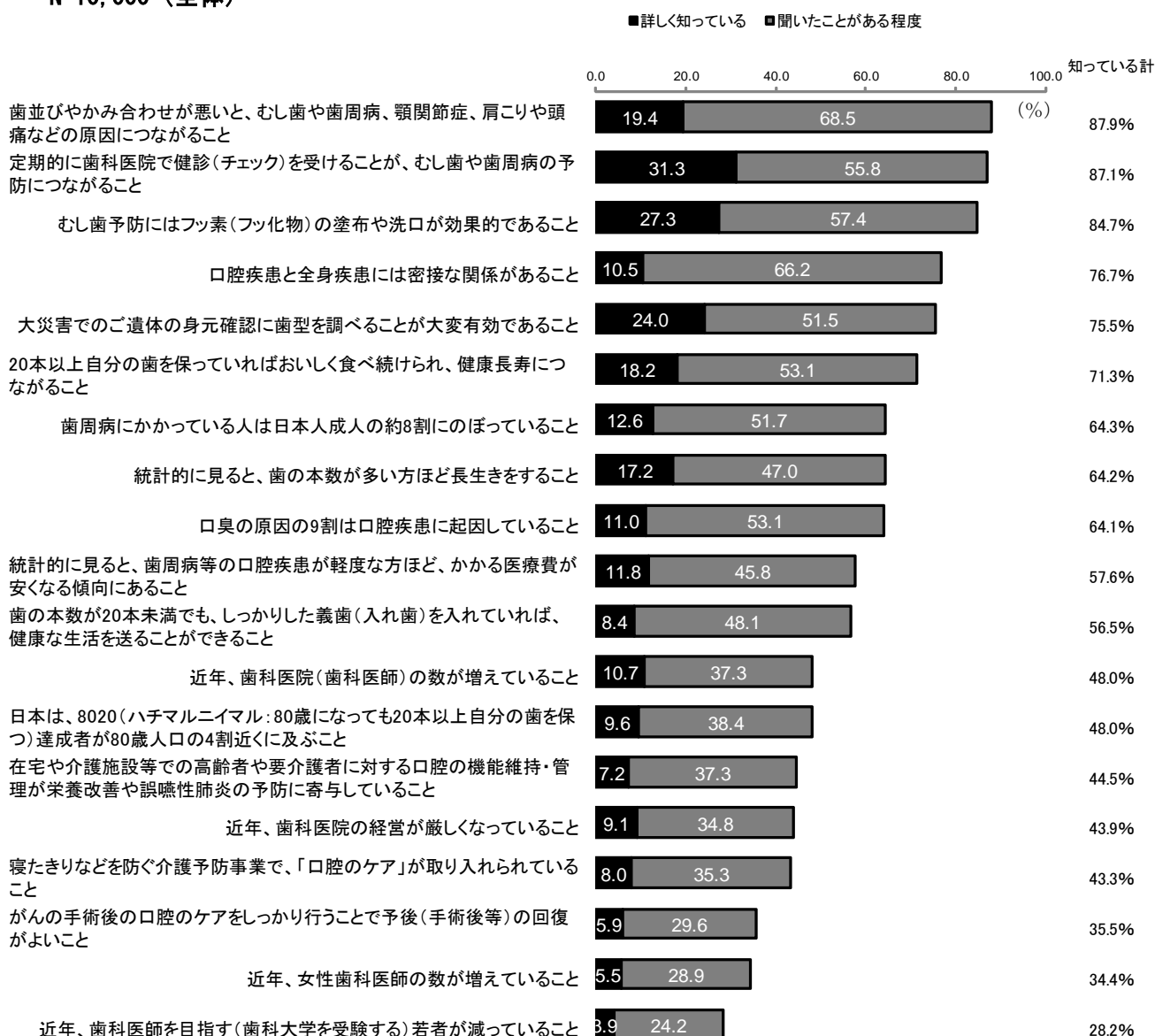


## ■ 歯の状態がからだに及ぼす影響に関する認知度は高いものの詳しく知っている人は少ない

歯科医療に関する認知では、「歯並びやかみ合わせの悪さが、歯の病気の原因になる」、「定期的な健診が予防につながる」、「むし歯予防にはフッ素が効果的」の認知率が非常に高く、どれも8割を超えています。ただし、これらの事柄を「詳しく知っている」割合は低く、「聞いたことがある程度」の割合が圧倒的に高くなっています。特に、関心度が高かった「歯科疾患と全身の病気の密接な関係」は、認知度は約76.7%ですが、詳しく知っている人は約1割程度にとどまっています。

### 【歯科医療についての認知】

N=10,000（全体）





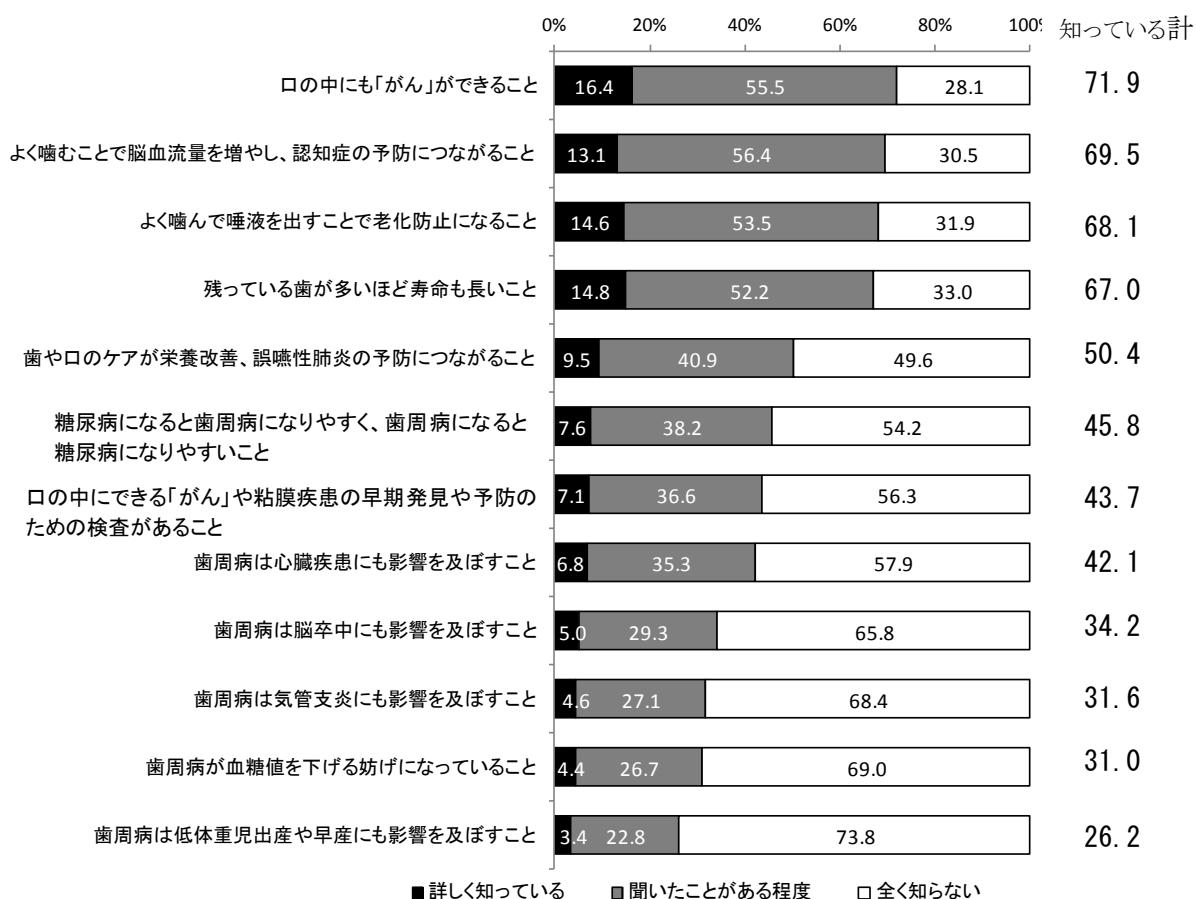
## ■歯科疾患と全身の健康とのかかわりにおいて、「歯周病」による影響については6~7割は「全く知らない」

「口の中にも『がん』ができる」(71.9%)、「よく噛むことで脳血流量を増やし、認知症の予防につながる」(69.5%)、「よく噛んで唾液を出すことで老化防止になる」(68.1%)、「残っている歯が多いほど寿命も長いこと」(67.0%)に対する認知度は約7割という結果になっています。しかし、これらの項目において「詳しく知っている」の割合はいずれも1割台にとどまります。

また、歯周病が「低体重児出産や早産」「気管支炎」「血糖値を下げる妨げ」「脳卒中」などに影響することについては、非認知度が6~7割になっています。

### 【歯科疾患と全身の健康とのかかわりに関する認知度】

N=10,000 (全体)



## 【歯科医師会の活動に対する認識・要望】

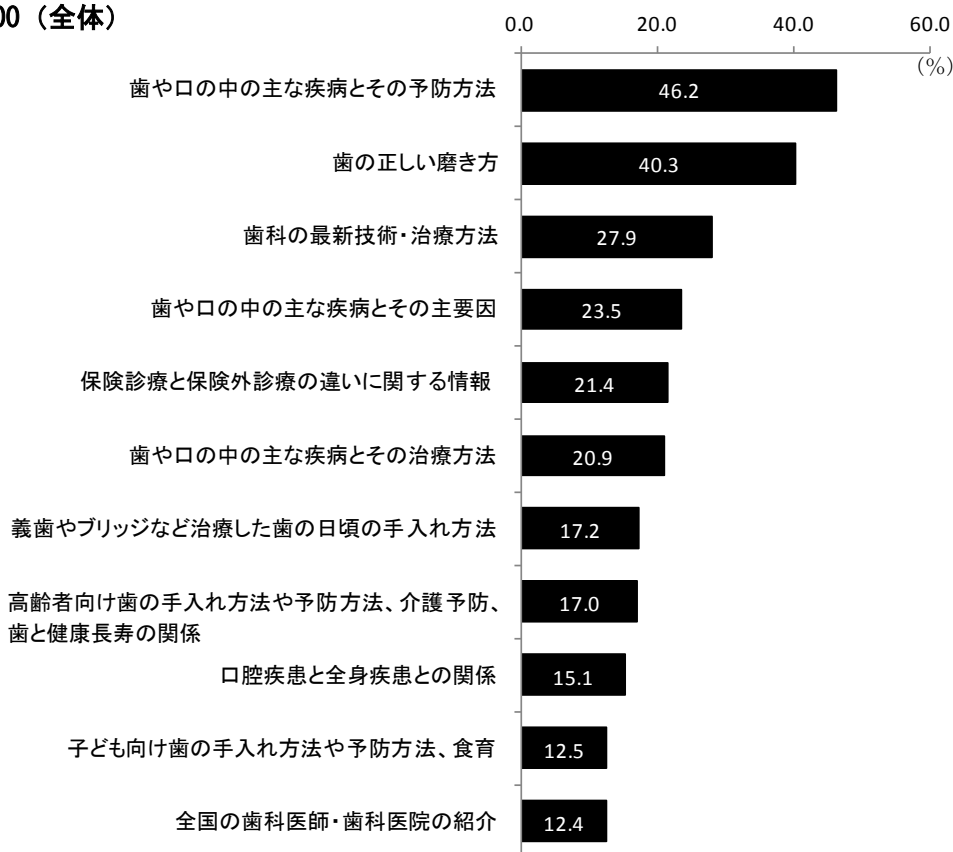
### ■歯科医師会から欲しい情報は「疾病と予防方法」、「歯の正しい磨き方」などの日常の基本的な口腔ケアに関する情報

歯科医師会から欲しい情報は、「歯や口の中の主な疾病とその予防方法」（46.2%）、「歯の正しい磨き方」（40.3%）など、基本的な日常の口腔ケアに対する情報を求めています。

なお、男女 20・30 代は「正しい歯の磨き方」、女性 20・30 代は「子ども向け歯の手入れ方法や予防方法、食育」、男女 60 代以上の高齢層では、「高齢者向け歯の手入れ方法や予防方法、介護予防、歯と健康長寿の関係」、「義歯やブリッジなど治療した歯の日頃の手入れ方法」を求める人が多くなっています。年齢層によって求める情報は異なっています。

### 【歯科医師会から欲しい情報】

N=10,000（全体）



### 【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人 日本歯科医師会 広報課  
電話：03-3262-9322 FAX：03-3262-9885